

科目名		キャリアプランニング 1							年度	2025
英語科目名		Career Planning 1							学期	前期
学科・学年		ダンスパフォーマンス科 1年次	必／選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員		三山慶人	教員の実務経験		有	実務経験の職種		音楽プロダクション制作業務		
【科目の目的】 この授業では社会人として、ダンサーとしてのマナーや考え方を主に学び、具体的には自己PRやプレゼンテーション技術、履歴書作成などを通して社会人になる為の準備を行う。また業界研究や企業説明の実施など進路決定をするための情報を集める。										
【科目の概要】 講義を通じて就職活動、オーディション合格に必要な自己PR術を習得する。正しい履歴書の作成方法を学ぶ。社会人として必要な積極性や協調性を講義内のディスカッションや課題研究を通して学ぶ。										
【到達目標】 A. 業種・職種を理解すると共に、進路を定めるための情報収集を自ら進んで行える。 B. 就活に向けて自らスケジュールの確認・調整ができる。 C. 履歴書の書き方を理解し自由フォーマット作成の自己PRを作成できる。 D. 普段から気持ちよくコミュニケーションを取れる話し方を習得する。 E. 出席率、課題提出率共に100%で、問題なく科目合格点を出せるレベルである。										
【授業の注意点】 専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。 教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。 授業時限数の4分の3以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価		レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力
到達目標 A		学科から目指すことができる業種・職種を理解すると共に、進路を定めるための情報収集を自ら進んで行っている。		学科から目指すことができる業種・職種を理解するための努力をしており、進路の定めるための情報収集を必要に応じて行っている。		学科から目指すことができる業種・職種について知ることができているが、進路を定めるために情報を見ている。		学科から目指すことができる業種・職種について知ろうとしているが、具体的に進路を定めるための行動をなんとなくしている。		学科から目指すことができる業種・職種について知ろうとせず、進路を定めるための自主的な行動は一切していない。
到達目標 B		就活に向けて自らスケジュールの確認・調整をし、スタートダッシュを切るための取組を独自に行っている。		就活に向けて自らスケジュールの確認・調整をしているが、スタートダッシュをきるための取組は特におこなっていない。		就活に向けてスケジュールの確認・調整をしなければと思っているが何となく日程を把握しているだけであり、具体的な行動はしていない。		就活に向けてスケジュールの確認・調整をする必要性は感じているが、特に行動を起こしておらず解禁されても何をすべきか理解していない。		就活に向けてスケジュールの確認はおろか特に何も行動を起こしておらず、準備もしていない。就職に対する意欲が全く感じられない。
到達目標 C		履歴書の書き方を理解しており、自由フォーマット作成の自己PRについてもPCor手書き問わず工夫を凝らして自分らしい作品に仕上げるができる。		履歴書の書き方は理解しているが自由フォーマット作成の自己PRについては手書きorPC作成のどちらかの方法で作成ができる。		履歴書の書き方は理解しているが自由フォーマット作成の自己PRについてはレポートのようになってしまい、いまいち工夫がみられない。		履歴書の書き方を理解しておらず、自由フォーマット作成の自己PRについても十分アピール素材として作成することができていない。		履歴書の書き方も自由フォーマット作成の自己PRについても作成方法を理解しておらず、自ら理解しようという姿勢見られない。
到達目標 D		面接の場でなくとも普段から気持ちよくコミュニケーションを取れる話し方を習得しており、就活において純分に発揮できる。		笑顔で挨拶はしてくれるが会話が苦手である。今後大人とのコミュニケーションに慣れれば十分社会で通用していくと思われる。		笑顔ではないが声を出して会話をしつつ挨拶ができる。会話している時に表情の変化が見られないことがあるが、今後改善されるだろう。		笑顔ではない上に声も小さく挨拶をしているのか分かりづらい。愛想よく見えないこともあり、社会にでたら苦労するだろう。		笑顔どころか挨拶もせず、目上の人の目を素通りしてしまう。話しかけられてもそっけなくコミュニケーションが取れない。
到達目標 E		出席率、課題提出率共に100%で、問題なく科目合格点を出せるレベルである。		出席率、課題提出率共に90%-99%で、問題なく科目合格点を出せるレベルである。		出席率、課題提出率共に80%-89%で、問題なく科目合格点を出せるレベルである。		出席率、課題提出率共に70%-79%で、一応科目合格点を出せるレベルである。		出席率、課題提出率共に60%-69%で、一応科目合格ではあるが今後不安があるレベルである。
【教科書】 毎回レジュメ・資料を配布する。										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 試験・課題 30% 試験と課題を総合的に評価する レポート 40% 授業内容の理解度を確認するために実施する 成果発表 20% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		キャリアプランニング 1			年度	2025
英語表記		Career Planning 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	自己振り返り	今後の時分を形成するために今の自分を知る	1 小学校の自分 2 中学校の自分 3 高校の自分	小学校の頃の自分を振り返る 中学校の頃の自分を振り返る 高校の頃の自分を振り返る	3	
2	目標設定	これまでの振り返りをふまえて専門学校生活における目標を設定	1 これからの自分 2 大目標を設定する 3 小目標を設定する	どんな自分に変化していくかを予測する 卒業時に自分がなっていたい姿を考える 大目標を元に小目標を設定する	3	
3	マンダラチャート	自らの目標を当てはめてみて考察する	1 概要説明 2 実例紹介 3 作成	マンダラチャートの概要を説明する マンダラチャートの実例を紹介する 実際に作成する	3	
4	マンダラチャート	作成したものを発表し共有し合う	1 発表 2 意見 3 完成	マンダラチャートをグループ発表する 発表を聞いた者から意見を貰う マンダラチャートを完成させる	3	
5	人間力とは	他人が人間力を見極める要素とそもそも人間力とは何なのか	1 人間力とは 2 ディベート 3 発表	社会的に受け入れられる人柄とは グループで話し合い、結論を出す グループ同士で共有し合う	3	
6	人間力とは	人間力を高めるためにすべきこととは何か	1 すべきことは何か 2 ディベート 3 発表	人間力を高めるためにすべきこととは グループで話し合い、結論を出す グループ同士で共有し合う	3	
7	ライフプラン	在学中から卒業までどのような生活	1 現在の生活 2 改善点を探す 3 進級まで、卒業まで	学校に慣れてきた今の生活を振り返る 時間を守る、アルバイトをするなど改善点を出す 時間を無駄にしない生き方を考える	3	
8	ライフプラン	卒業からどのような人生	1 生活に必要なもの 2 仕事の充実度 3 キャリアアップ	仕事、お金、家・・・その他に何が必要か どのような仕事に就いてどれほど稼ぐか 「評価」「出世」を理解する	3	
9	専攻コース選択	実習におけるコース選択	1 専攻コースの理解① 2 専攻コースの理解② 3 専攻コース決定	希望職種に直結しているかを考察 希望する内容が学べるコースかを考察 専攻コースで学んだことを将来にどう生かすか考察	3	
10	履歴書	個人情報の書き方	1 履歴書の左半分 2 住所欄 3 学歴職歴欄	履歴書は自分を映す鏡・文字は綺麗に書く 現住所や帰省先住所の考え方 卒業した学校名の書き方・職歴の書き方	3	
11	履歴書	志望動機の書き方	1 結論から書く 2 根拠を書く 3 この会社が良い理由	最初の2行で伝わる志望動機 面接で深堀りしたくなる志望理由の「根拠」 受験先企業との親和性	3	
12	履歴書	自己PRの書き方	1 自分はどんな人 2 人柄をまとめる 3 自分の強みとは	性格診断テストの実施 以前の振り返りも参考に自分の人柄をまとめる 自らの強み・アピールポイントを考える	3	
13	履歴書	専門科目の書き方	1 自己PRとの差別化 2 実習の取組み 3 研究した内容	内容が被らない書き方を身に付ける 作業している姿が目につかぶ書き方を心掛ける 科目を通じてどのような研究をしたかをまとめる	3	
14	履歴書	課外活動の書き方	1 アルバイトの書き方 2 体験入学の書き方 3 ホランディアの書き方	どのように仕事に取り組んだかのアピール どのように広報活動に寄与したかのアピール どのように社会貢献活動をしたかのアピール	3	
15	面接マナー	一般的な面接の流れ	1 企業訪問からの流れ 2 面接中の受け答え 3 御礼と退散の仕方	服装、挨拶の仕方など 話の聞き方と受け入れられやすい話し方 最後まで気を抜かないように注意を払う	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等